

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に 係る整備、維 持補修又は維 持運営等措置	町道折田小川線舗装工事	中之条町	9,387,000	8,000,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道折田小川線舗装工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		中之条町		
交付金事業実施場所	中之条町大字中之条町地内			
交付金事業の概要	<p>本路線は、草津温泉からの観光客を四万沢渡温泉に繋ぐ重要な道路であると共に、路線沿いには吾妻東部衛生センターや県土木事務所、町営住宅などがあり、交通量が多く道路の損傷が激しい。このため、安心安全なまちづくりの一環として舗装の維持補修工事を実施することで、地域住民の生活環境を改善し、観光客が安心して訪れることのできる道路環境を整備する。</p> <p>・舗装工 L=360.0m A=2,116.7m² ・区画線工 L=726.9m ・アスカーブ工 L=73.4m</p>			
総事業費	9,387,000	交付金充当額	8,000,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	8,000,000	
交付金事業の成果及び評価	舗装面の改良をすることにより、車輛等の安全な通行が可能となり、地域住民の生活環境が改善され、また、観光客が安心して訪れることのできる安心安全なまちづくりが図られた。			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	道路補修	指名競争入札	株式会社千島工務店	9,387,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
<p>主要な町道について、舗装面の調査を行い、特に裂傷、ゆがみの激しいものについて優先的に整備を行うとともに、上下水道事業における配管工事と連携し、効率的・計画的に事業を進めていきたい。</p>				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特になし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	六合こども園運営事業	群馬県中之条町	11,428,194	6,534,000	

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
1	地域活性化措置	六合こども園運営事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		群馬県中之条町	
交付金事業実施場所	中之条町大字生須地内		
交付金事業の概要	<p>六合こども園は、平成14年に幼保一体化特区を受け、幼稚園児と保育所児の合同活動容認の特例措置を受けた施設である。一元化しなければ運営が困難な過疎地域であるが、地域における未就学児を受け入れることができる唯一の施設であり、良質な幼児教育の確保、女性の社会進出と少子化対策等に対し、極めて必要性の高い施設となっている。</p> <p>交付金の充当により、安定したこども園運営が確保されることで、住民が安心して保育を委託することができ、良質な幼児教育環境と子育て環境が確保できる。</p>		
総事業費	11,428,194	交付金充当額	6,534,000
		うち文部科学省分	
		うち経済産業省分	6,534,000
交付金事業の成果及び評価	<p>六合こども園は、幼稚園児と保育所児の合同活動容認の特例措置を受けた施設であるが、交付金を職員給与に充当することで、主に幼稚園教諭として対応する職員2名と、主に保育所保育士として対応する職員2名の計4名を確実に確保することができた。これにより、地域のニーズに十分対応した職員配置が実現され、幼稚園児1名、保育所児16名を受け入れることができた。このように安定したこども園運営が確保されることで、安定した幼児教育と保育を提供する体制が整い、住民が安心して保育を委託できる施設となった。良質な幼児教育環境と子育て環境が確保されたことから、女性の社会進出の一助となるとともに、少子化対策にも一定の役割を果たしている。</p>		

交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	職員給料	—	—	11,428,194
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
なし				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特になし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見通し等について記載すること。